

つぎの文の ぶん _____ とはんたいのいみのことば

が (はい) に入ります。あてはまることばを、
あとの からえらび、 () にかき
ましょう。

① このノートは、たてよりも (よこ) のほう
が長い。 なが

② つくえは大きい おお が、いすは (ちい 小さい)。

③ このようふくの外 そと がわは、じみだが、 (うち 内)
がわは、はです。

④ この教室の上 うへ は音楽室で、 (した 下) は ざこうしつ 図書室だ。

下 した

よこ

内 うち

小さい ちい

つぎの文の ぶん _____ とはんたいのいみのことば

が () に入ります。あてはまることばを、
あとの _____ からえらび、() にかき
ましょう。

① 駅えきに行くには、この道みちを左ひだりにまがり、つぎの
かどを (右みぎ) にまがればよい。

② お父さんとうのかばんはおもいが、ぼくのかばん
は (かるい)。

③ (あつい) おちやと、つめたいジュース。

④ 少ないすくえさで、(多くおお) の魚さかながつれた。

かるい 右みぎ 多くおお あつい

つぎの文の ぶん _____ とはんたいのいみのことばが

(はい _____)に入ります。あてはまることばを、あとの からえらび、(かきま _____)にかきましよう。

① この公園は広いが、すな場は (せまい)。

② 太い糸を、(ほそ 細い) はりのあなに通すのはた とお いへんだ。

③ 雲取山は東京都で一番高い山だが、日本一の ふじさん 富士山とくらべると (ひくい)。

④ ねこのしっぽは長いが、うさぎのしっぽは (みじかい)。

みじかい せまい ひくい 細い ほそ

つぎの文の ぶん _____ とはんたいのいみのことばが

() はいに入ります。あてはまることばを、あとの からえらび、() かきまにかきましよう。

① この電車の前でんしや まえのほうは、こんでいるが、(後うしろ)のほうはすいている。

② おじいさんは、かさを売うったお金かねで、お米こめを(買かった)。

③ いそいで行いったが、おすれものに気きづいてもどつて(来きた)。

④ くつをぬいで、スリッパを(はく)。

来きた 買かった 後うしろ はく

国語
五―五

第一学年及び第二学年の内容
対義語

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎの文の ぶん _____ とはんたいのいみのことばが

(はい) に入ります。あてはまることばを、あとの からえらび、(かきま) にかきましよう。

① 学校 がっこう から いえ ぼくの家は ちか 近いが、ともだちの家は いえ 遠い

(とお 遠い) 。

② かたい ボールと、(やわらかい) ボール。

③ この川 かわ は (あさい) ところと、ふかいところがある。

④ 白 しろ くまは、さむさには つよ 強いが、あつさには (よわ 弱い) 。

あさい

弱い よわ

遠い とお

やわらかい